

フォロワー数（フォロワーされている数）の迷信と真実

「ハーバード大学合格者＝世界でトップレベルの頭脳」というステレオタイプはよくご存知だと思います。ですから、ステイタスシンボルとしてハーバード大学に入学したい学生や子供を入学させたい親がいます。もちろんハーバード大学には優秀な頭脳の学生さんが揃っています^{そろ}が、決してイコール「世界でトップレベルの頭脳」ではありません。

まず、別の大学のほうが好きだからハーバードを受験（ペーパーでの試験ではなく、書類なので表現がいまひとつですが）しない優秀な生徒は少なくありません。次に、スポーツで突出した才能を持っていれば、学校の成績が多少悪くてもスカウトしてもらえます。第三に、祖父母や親兄弟が同じくハーバード出身者であれば、「レガシー入学」といった他の希望者より優先してもらえます。親が巨額の寄付を行えば合格しやすくなるのも、米国では完璧に合法です。

「TOEFLあるいはTOEIC満点＝熟練した英語が使える」も似たようなステレ

オタイプです。試験の点数はしかるべき勉強をすれば上がるものですが、だからといって英語圏でのコミュニケーション能力が高いとは限りません。

言語の熟達度をテストで計ることの限界は、海外で暮らしたことがある人であれば誰でも知っていることです。それでもこういった迷信が存在するのは、そのほうが数値化され可視化されて分かりやすいからです。

ツイッターで一番分かりやすい、可視化された比較指標がフォロワー数です。だからこそ、フォロワー数に関する根強い迷信が存在しているのです。そこで、まずはフォロワー数に関する「迷信(思い込み)と実際」についてお話してゆこうと思います。

▼フォロワー数が多いのは有名人、という迷信

ツイッターにおける最大の迷信は、「フォロワー数が多ければ多いほど有名(偉い、達人)」というものでしょう。多少の真実は含まれていますが、ツイッターの普及に伴って加速度的にただの迷信になりつつあります。

フォロワー数が多い方々を観察し、実際に取材もして得た、私の仮説はこうです。フォロワーが多い人たちは、ほぼ4つにまとめられます。

- ① 有名人
- ② ツイートに情報性がある／面白い
- ③ 早くから始めた
- ④ フォロワーを増やす努力(操作)をしている

フォロワー数の多いアカウントに遭遇そうぐうすると、普通の人は①か②だと思うことでしょう。けれども、よくよくそれらのアカウントを観察してみると、④の「フォロワーを増やす努力(操作)をしている」場合のほうが多いのです。

②の情報性があり、面白いツイートをする人であっても、フォロワー数が数千から数万になるのには時間がかかります。

短期間にフォロワー数がこの数に達している人たちは、フォロワー数が少ないあなたよりも偉いわけでも達人でもなく、フォロワーを増やすために「努力」をしているだけなのです。その努力の中身についてはいろいろありますので、後で詳しく語ることに